



報徳@なう

発行人:田嶋 享

クラウドファンディング達成!!感謝です

9月14日から始まった報徳食品支援センターのクラウドファンディングは左のような結果になりました。皆様方のご支援のたまものです。

目標金額
250万円
ご寄付額
273.7万円
達成率
109%



ありがとうございます。

当初、いろいろな事情があり、令和3年度の報徳食品支援センターの収支が2百万円赤字になりそうということが分かりました。この赤字対策を考えている最中に当センターに頼もしいメンバーが加わりました。小室刀時朗(こむろとしろう)さんです。

小田原の路面電車(チンチン電車)は路線廃止に伴い長崎市に譲られ、長崎市で長年活躍していました。最後まで残っていた151号が2019年(平成31年)に引退し、そこでこのたび、151号を小田原へ里帰りさせる小田原ゆかりの路面電車里帰りプロジェクトが立ち上がりました。このプロジェクトを推進し、さらにその費用をクラウドファンディングで調達した責任者が小室さんでした。

このような素晴らしい実績のある小室さんに指導していただき、クラウドファンディングに取り組んだ次第です。

私たちの活動の趣旨にご賛同をいただき、ご寄付をされました皆様方には感謝申し上げます。また、賛同者としてお名前を貸していただきました。小田原前市長加藤憲一様、潤生園会長時田純様、小田原市社会福祉協議会会長小野康夫様そして報徳二宮神社宮司草山明久様には、心から御礼申し上げます。

報徳支援センターとしては、皆様方のご支援に應えるため、さらに生活困窮者の方々への支援活動に邁進して参ります。まことにありがとうございました。

提案者の小室さんの言葉

私は2020年9月に「小田原ゆかりの路面電車。64年越しの里帰りプロジェクト!」というクラウドファンディングを実行しました。コロナ禍にも関わらず全国からご支援いただきました。勿論小田原周辺地域の皆様や小田原にゆかりのある方々から支援をいただき、クラウドファンディングは目標額を達成しました。これほど多くの方々からご支援をいただき、感激するとともにプロジェクト実現の責任を痛感したものです。そして、同年12月路面電車は里帰りを果たし2021年今年3月に設置させていただいた施設「箱根口ガレージ(報徳広場)」が開業いたしました。

さて、報徳食品支援センターに参画した私の最初の仕事はクラウドファンディングを始めるこ

とでした。理事のみなさんとクラウドファンディング・リーダーフォーの担当者、実施計画の打ち合わせをしました。路面電車の場合は500万円の目標で実施することになりましたが、センターの場合は毎年資金が必要になってきます。年間の最低必要額を毎年クラウドファンディングで支援をお願いしてみようということになりました。

田嶋理事長・各理事の知人・友人、関係する団体さんや食品メーカーさんに協力をお願いしました。私も同級生に支援をお願いしました。

結果、多くの支援をいただきました。当センターのクラウドファンディングの特徴は、小田原周辺の地元の皆様及び私たちの知人・同級生達のご支援が多かったということです。これは何にもましてありがたく、うれしく感謝にたえません。これからも当センターの一員として食支援をしてみたいです。

本岡副理事長からの御礼の挨拶

定着しつつあるフードバンク事業を継続させるため、運営資金を募るといふ地味な企画でしたが、目標に対し109%達成させていただきホッとしています。当該企画を成功させるには、自分の友人・知人に遠慮なく頼みました。地元のタウンニュース社にも良い記事を書いて頂きました。多くの方々のご理解・ご支援のたまものです。今後も当センターを役員・ボランティアの皆様としっかり運営して参ります。

田嶋理事長共々御礼申し上げます。